

平成27年度「医師インターンシップ」実施報告書

(いばらき版サイエンスハイスクール事業)

Rマスト委員会

- 1 日 時 平成27年7月29日(水) 8:30～16:00
- 2 場 所 東京医科大学茨城医療センター
- 3 講 師 東京医科大学茨城医療センター 卒後臨床研修センター長 柳生 久永 先生
- 4 参加者 医学特別ゼミ登録生徒8名
- 5 生徒感想

・手術を見たり、内視鏡シミュレーターを体験したり、医師の人と話したりと、普通では体験できないことをたくさんできたのは良かったです。受験生なので、気を引き締めて勉強に取り組み、医師になりたいです。(3年)

・「まわりが見えること」「ON/OFFの切り替え」「コミュニケーション能力」などが必要だと聞きました。ご多忙の中、貴重な体験をさせていただいたので、恩返しができるように頑張りたいです。(3年)

・手術室の見学は、想像していたものと全く違い、緊迫感がありながらも、的確に進められていく様子を見ることができました。医学部に行きたいという思いが強くなりました。(1年)

・私たちがいる中でも目をそらすことなく患者さんに向き合って手術をこなしていたので、相当な集中力だと思いました。食事もとらずに6～7時間にも及ぶ手術もあると聞いて、感動しました。(1年)

・午後はたくさんの体験ができて良かったです。オペ着を着ることができたり、聴診器を使って心臓の音を聞くことができたりと、学ぶことが多く、とても楽しくできました。(1年)

6 引率者報告

東京医科大学茨城医療センターの協力のもと、今回で6回目を迎えた。医師を目指す生徒を対象に、手術室を見学させてもらったり、大学生が実際に使用しているシミュレーターなどの器具を体験させてもらったりすることで、医学の知識を学ぶと同時に、医師を志す決意を固めるのを目的としている。

職員や患者の快諾を受けて、実際の手術現場に立ち会うことは、本当にありがたく、貴重な体験である。生徒はたくさんの刺激や感動を持ち帰り、夏季休業における学習への意欲を高めたようである。

多忙な業務の中、このようなすばらしい学習の機会を与えてくださった、松崎靖司病院長や柳生久永先生をはじめとする多数の職員・学生に、この場を借りて、改めて感謝の意を表したい。

